

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第72回 リサイクル燃料貯蔵分科会(F4SC)議事録

1. 日時 2025年10月6日(月) 13:30～16:30
2. 場所 TNT(新橋)3F 会議室及びWebexによるオンライン会議
3. 出席者 (順不同、敬称略)
(出席委員)木倉(主査)、浅見(副主査)、白井(幹事)、市橋、海老原、清水、高橋(淳)、堂守、藤沢、樋口、山根、渡邊、亘(13名)
(欠席委員)島、山田、(2名)
(出席常時参加者)石川、大岩、岡部、広瀬(4名)
(欠席常時参加者)上良、渡辺(2名)
(オブザーバー参加)溝渕(1名)
4. 配布資料
配布資料
F4SC72-1 第71回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録(案)
F4SC72-2-1 分科会関連人事整理表
F4SC72-2-2 人事について(分科会)
F4SC72-4-1 コンクリートキャスク標準作業会の活動状況について
F4SC72-4-2 コンクリートキャスク標準作業会作業フロー
F4SC72-4-3 コンクリートキャスク標準作業会作業スケジュール
F4SC72-4-4 作業会アンケート結果への回答の根拠の整理
F4SC72-4-5 改定必要性アンケート調査への回答
F4SC72-5 今後の金属キャスク標準作業会の進め方に関するアンケート結果
F4SC72-6 2025年度倫理講習ご意見集約
F4SC72-6(別紙) 2025年度倫理講習について
F4SC72-7-1 標準策定5か年計画更新版作成の依頼文(2026年度版)
F4SC72-7-2 原子燃料サイクル専門部会2026年度版標準策定5か年計画(リサイクル燃料貯蔵分科会)
5. 議事
幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の2/3以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。
(1) 前回議事録確認

- ・ 前回議事録(案)として F4SC72-1 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(2) 人事について

- ・ 1名の分科会委員の退任が確認された。
- ・ 1名の分科会委員の選任が承認された。
- ・ 1名のコンクリートキャスク標準作業会委員の退任が確認された。
- ・ 1名のコンクリートキャスク標準作業会委員の選任が承認された。

(3) 標準委員会/原子燃料サイクル専門部会の活動状況

- ・ 幹事より、来年度の標準策定 5 か年計画作成依頼が原子燃料サイクル専門部会よりあった旨報告があった。

(4) コンクリートキャスク標準作業会の活動状況について

- ・ 藤沢委員(コンクリートキャスク標準作業会主査)及び亘委員より、F4SC72-4 シリーズに基づき、コンクリートキャスク標準の改定活動状況について説明があった。
 - F4SC72-4-4における根拠書、F4SC72-4-5 における中長期的課題の分類については、以下の意見があった。
 - ◇ 詰め替え作業時のイベント整理に関し、イベント時に事故が生じたときに未臨界等の安全性を確保するために、キャニスター・バスケット・燃料などが、どの条件まで許容して装置設計するか示すことが重要。金属キャスクでも FTA にて共用状態Ⅲ、Ⅳの事象があるか確認したが、異常着床等の共用状態Ⅱでおさまっている。
 - ◇ 蓋溶接後の試験項目(耐圧、気密)に関し、金属キャスク標準では、JSME とのすみ分けにより、耐圧検査は JSME に従って検査するとしている。米国同様燃料装荷後に耐圧検査を必要とするならば、JSME 側と協議する必要がある。
 - ◇ 中長期課題との分類に関し、密封機能の監視は中長期課題としているが、F4SC72-4-4の⑧の対応の一部であるため、今回改定の再整理の位置づけとすべき。
 - 破損燃料は、今回の改定には含めず、中長期課題とすることが確認された。

(5) 今後の金属キャスク標準作業会の進め方について

- ・ 市橋委員(金属キャスク標準作業会主査)より、F4SC72-5 に基づき、金属キャスク作業会進め方のアンケート調査結果について報告があり、以下の意見があった。
 - アンケート結果は、主に研究成果等による新知見、国内貯蔵実績、海外貯蔵実績のある技術的課題に分類される。
 - 約 5 年後の改定を考えると、新知見、国内貯蔵実績は、改定に盛り込むことは可能だが、燃焼度クレジットや破損燃料等海外貯蔵実績のある技術的課題については、標準

に盛り込むデータが必要。また、臨界など燃料については、原子力学会の別の分科会等の調整や専門家も必要。

- 海外貯蔵実績のある技術的課題の標準取入れに関して、電力会社のニーズについて確認が必要。
- 標準策定 5 か年計画に反映させるためには、幹事会(又は電力会社を含め主要なメンバー)で、上記内容を議論する必要がある。

(6) 来年度の標準策定 5 か年計画について

- ・ 幹事より、F4SC72-7シリーズに基づき、来年度の標準策定 5 か年計画の作成スケジュールと計画案の紹介があり、今後以下の通り進めることになった。
 - コンクリートキャスク標準改定に関しては、作業会資料と整合している。
 - 金属キャスク標準改定に関しては、幹事会(又は電力会社を含め主要なメンバー)で、上記内容を議論して、5 か年計画に反映する。分科会には、その結果をメールにて審議する。

(7) 2025 年度倫理教育について

- ・ 各委員、各常時参加者より、F4SC72-6 シリーズに基づき、今年度の倫理教育の感想、意見について発表し、意見交換を行い、原子力の倫理に関して理解を深めた。
- ・ 受講結果は、幹事より原燃サイクル専門部会に提出し、11 月の部会で報告予定。

(8) その他

- ① 金属キャスク標準 2024 の発刊について
 - 幹事より、7 月に金属キャスク標準 2024 が発刊したことの報告があった。
- ② 今後の予定
 - 次回幹事会 2025 年 12 月 22 日(月) 午後
 - 次回分科会 2026 年 1 月 14 日(水) 午後

以 上